

もしもに備えて

耐震改修を行いましょ

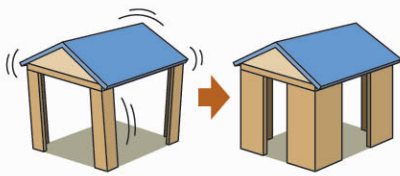
耐震診断で安全でないと言われた場合は、適切な耐震改修を行うことで安全性を確保できます。以下では、耐震改修工事の主な方法を紹介しています。専門家に相談してわが家にもっとも適した工事方法を選び、耐震改修を行いましょ。

■耐震補強の種類

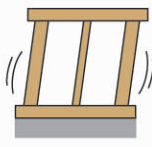
壁を補強する

耐力壁を増やそう!

耐力壁の量を増やすと、建物は丈夫になります。

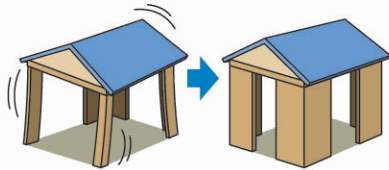


揺れによるゆがみ

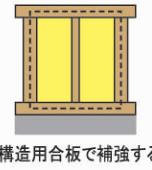


耐力壁のバランスを良くしよう!

壁の配置にかたよがあると、地震で建物がねじれる恐れがあります。壁の少ない側に耐力壁を設ける補強をして、建物のバランスを良くします。



筋かいを入れる



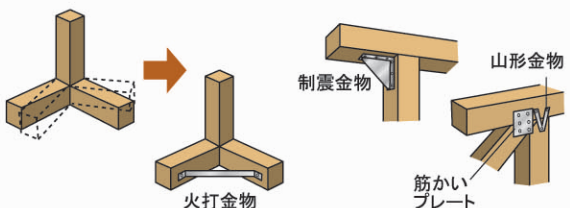
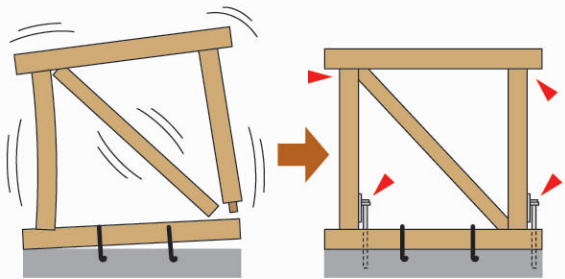
構造用合板で補強する

耐力壁とは…

ただのボードを張っただけの間仕切用の壁と区別され、構造用合板などを張り、想定される地震力に抵抗できる壁のことをいい、筋かいの付いた壁も含まれます。

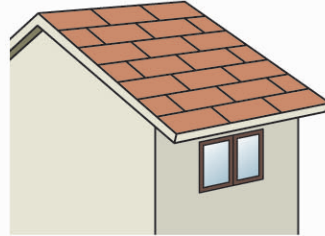
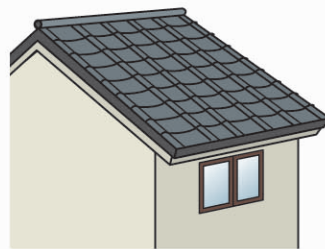
接合部を補強する

火打金物・制震金物・筋かいプレート・山形金物などで補強することで地震の揺れによるゆがみに耐えることができます。



屋根の軽量化

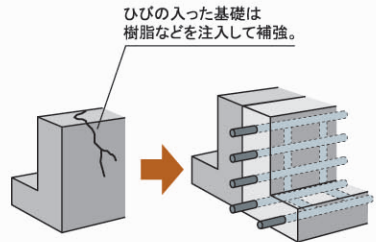
軽い材料の屋根に替えることで、耐震構造を向上!



屋根の軽量化については、耐震壁などの上部構造各部の補強と全体で考えましょ。

建物の基礎を補強する

土台が大切! 基礎の補強で建物の性能UP!

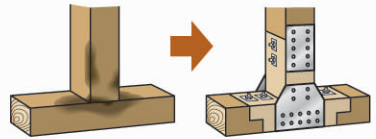


無筋コンクリートは耐震性に乏しく、崩壊しやすい。

新たに鉄筋コンクリート造の基礎を抱き合わせます。

腐朽部分を補強する

腐朽部分は新しいものと交換ましょ!



劣化した部材を部分的に取り替えた場合、接合部が弱点にならないように補強ましょ。

ひと部屋だけを耐震化することも有効

家全体の耐震改修が困難な場合、ひと部屋だけでも補強をして安全空間を作っておくと、いざというときに逃げ込む場所として有効です。



耐震改修をお考えの方は是非ご相談を!!

執ような訪問営業、不安をあおる、強引な契約…悪質な訪問販売が目立っています。訪問販売の場合、たとえ工事が終わっていても、クーリング・オフ期間内(契約書面を受け取ってから8日以内)であれば契約を解除できます。クーリング・オフ期間が過ぎても法律で契約を取り消せる場合があります。困ったとき、不審に感じたときは早めに下記窓口へ相談を…

●島本町 都市環境部 産業建設課 TEL:075-962-2846 (消費者相談 毎週月・水曜日 午前10時~正午)

●大阪府消費生活センター相談専用電話 TEL:06-6945-0999 (月~金曜日 午前9時~午後5時)